



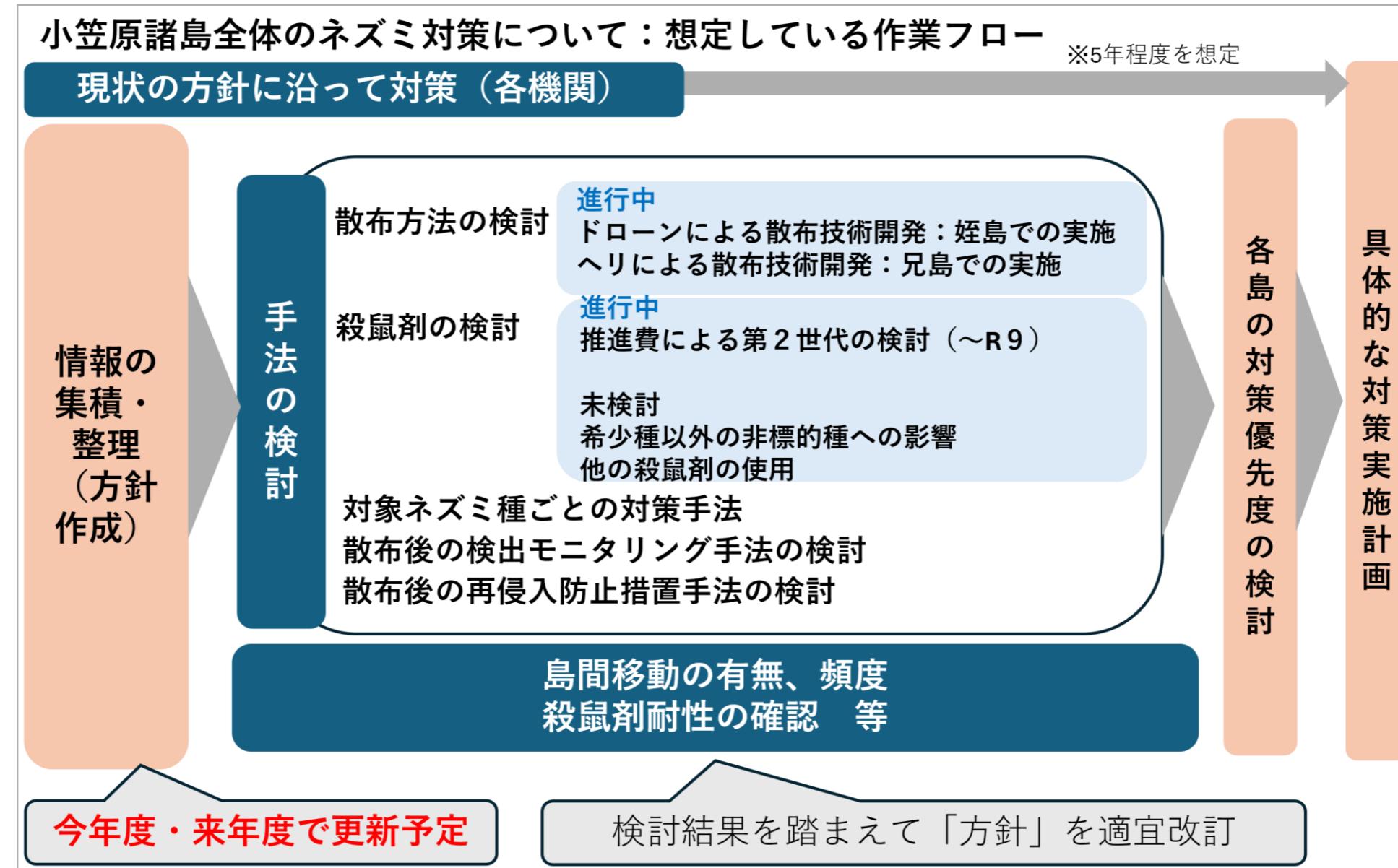
小笠原諸島のネズミ対策の検討状況

令和7年度 第2回 小笠原諸島世界自然遺産地域 科学委員会
令和7年12月5日

検討の流れ（予定）



- 令和7年度第1回兄島外来ネズミ類対策検討会（9/30）で示した、方針作成とその後の検討の流れは以下のとおり。



対策方針の目次（案）



- ・令和7年度第1回兄島外来ネズミ類対策検討会（9/30）で示した、方針の目次（案）は以下のとおり。
- ・検討会での意見を踏まえ、項目の追加等を行う。

1. ネズミ対策の全体的なフロー図

方針から具体的な対策計画策定までの流れを示すもの

2. 小笠原諸島の属島における課題と優先度

保全対象種のモニタリング状況を評価

3. 手法の紹介

使用実績や課題も提示

4. 島嶼毎の外来ネズミ類の根絶実現可能性の評価

根絶実現可能性や、島間移動の可能性を評価

5. 小笠原諸島における外来ネズミ類対策の考え方

2～4 踏まえた島ごとの対策方針

6. 今後議論や検討が必要な事項

7. 各種検討状況（スケジュール）

検討会でいただいた御意見



・令和7年度第1回兄島外来ネズミ類対策検討会（9/30）でいただいた御意見は以下のとおり。

- ・対策方針には有人島を含めるべき
- ・資料にオレンジ色で示していただいた枠組みだけでは足りなくなるのではないか。
- ・島ごとの対策と記載されているが、ネズミは島間移動の可能性があるため、その前段階として列島ごとの対策方針を決める必要があると思う。
- ・ネズミがいなくなることによって影響を受けるオガサワラノスリのような種の評価も必要。
- ・検討委員のメンバーについて、現在は兄島の対策に必要な専門家が集められているが、小笠原諸島全体の対策を考えるのであれば、それに必要なメンバーを再検討する必要がある。